

長 崎 県

市 区 町 村	問1 本庁の行政職員のうち、防災・危機管理部局に配置されている女性職員の状況を教えてください。 (令和3年12月31日現在)			問2 令和3年1月1日から令和3年12月31日までの間に、職員に対し、「男女共同参画の視点からの防災」をテーマにした研修・訓練を1回以上実施しましたか？	問2-1 男女共同参画の視点からの研修・訓練を実施するにあたり、どのような取組を行いましたか？ (あてはまるものに全て○) ※問2で「はい」答えた場合のみ回答							
	総数 (人)	女性数 (人)	比率 (%)	① 「災害対応力を強化する女性の視点～男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン～」を教材として活用した。	② 「災害対応力を強化する女性の視点」実践的調査プログラム(令和3年5月)を教材として活用した。	③ 研修・訓練の企画から実施まで、男女共同参画担当部局と防犯局が連携して取り組んだ。	④ 男女共同参画部局または男女共同参画センターの職員が講師を務めた。	⑤ 男女共同参画部局、防災・危機管理担当部局以外の、災害対応を行う部局(福祉・教育・保健担当等)の職員が参加した。	⑥ 女性職員への参加勧奨(広報、声かけ等)を行った。	⑦ その他	⑦の内容	
五 島 市	3	0	0.0	はい	○	○		○				
佐 々 町	1	0	0.0	はい	○	○						
南 島 原 市	8	0	0.0	はい	○	○						
壱 岐 市	4	0	0.0	はい	○	○						
大 村 市	3	0	0.0	はい	○	○				○	庁内全課で登録している男女共同参画庁内推進員を対象に、外部講師による研修を実施した。	
対 馬 市	2	0	0.0	はい	○	○			○			
小 値 賀 町	1	0	0.0	はい	○	○			○			
島 原 市	4	0	0.0	はい	○	○			○	○		
川 棚 町	1	0	0.0	はい	○	○				○	チラシを作成し、公民館等への設置、広報紙等に掲載することで、広く周知を行った。	
平 戸 市	5	0	0.0	はい	○	○						
新 上 五 島 町	3	0	0.0	はい	○	○						
時 津 町	10	3	30.0	はい	○	○		○				
東 彼 杵 町	3	0	0.0	はい	○	○						
松 浦 市	4	0	0.0	はい	○	○		○	○	○		
波 佐 見 町	2	0	0.0	はい	○	○			○			
西 海 市	6	0	0.0	はい	○	○			○			
諫 早 市	16	1	6.3	はい	○	○						
長 与 町	9	1	11.1	はい	○	○			○	○		
長 崎 市	14	0	0.0	はい	○	○						
雲 仙 市	4	0	0.0	はい	○	○		○	○			
佐 世 保 市	10	1	10.0	はい	○	○						

長 崎 県

市 区 町 村	問3 地方防災会議の委員の人数(委員数を含む)について教えてください。 (令和3年12月31日現在)						問3-1 地方防災会議に女性委員を増やすための取組を していますか？	問3-2 地方防災会議に女性委員を増やすためのどのような取組を行っていますか？ (あてはまるもの全て○) ※問3-1で「はい」答えた場合のみ回答									
	防災会議委員 の総数 (人)	男性委員数 (人)	男性割合 (%)	女性委員数 (人)	女性割合 (%)	設置していない		① 防災会議の委員に關 する条例を改正し た。	② 5号委員について、 庁内職員を任命する 際には、職位に關わ らず積極的に女性職 員を登用した。	③ 7号委員について、 指定公共機関又は 指定地方公共機関 から女性の役員又は 職員を登用した。	④ 8号委員について、 自主防災組織を構成 する者又は若年層等 のある者のうち、女 性を積極的に登用し た。	⑤ 防災会議の下部組 織(部会等)や実質 的な準備を担う中 等に女性を登用した。	⑥ 委員を公募し、女性 を積極的に登用し た。	⑦ 専門性を有する女性 の人材リストを作成 し、関係団体への女 性委員の推薦を要請 した。	⑧ 男性委員に対し、男 女共同参画の視点 の普及啓発について の研修や情報共有を 行った。	⑨ その他	⑩の内容
五 島 市	36	34	94.4	2	5.6		いいえ										
佐 々 町	25	24	96.0	1	4.0		いいえ										
南 島 原 市	41	39	95.1	2	4.9		いいえ										
巻 城 市	22	20	90.9	2	9.1		いいえ										
大 村 市	42	33	78.6	9	21.4		はい									○	現委員が任期満了や人事異動の際、女性の委員を推薦するよう関係機関へ依頼した。
対 馬 市	34	34	100.0	0	0.0		いいえ										
小 値 賀 町	20	20	100.0	0	0.0		いいえ										
島 原 市	31	30	96.8	1	3.2		いいえ										
川 棚 町	29	28	96.6	1	3.4		いいえ										
平 戸 市	40	40	100.0	0	0.0		いいえ										
新 上 五 島 町	29	27	93.1	2	6.9		いいえ										
時 津 町	17	15	88.2	2	11.8		はい			○							
東 彼 杵 町	23	20	87.0	3	13.0		いいえ										
松 浦 市	33	29	87.9	4	12.1		いいえ										
波 佐 見 町	27	24	88.9	3	11.1		いいえ										
西 海 市	38	37	97.4	1	2.6		いいえ										
諫 早 市	38	33	86.8	5	13.2		はい			○							
長 与 町	23	20	87.0	3	13.0		いいえ										
長 崎 市	56	49	87.5	7	12.5		はい									○	委員交替の際に、女性委員を推薦いただようお願している。
雲 仙 市	42	39	92.9	3	7.1		はい			○							
佐 世 保 市	51	45	88.2	6	11.8		はい									○	指定する委員以外については、団体へ委員推薦の依頼をする際に可能な限り女性委員の推薦をお願している。

長 崎 県

市 区 町 村	問5-1 上記の備蓄品について、期限管理や定期的な在庫確認(棚卸し)について備蓄計画等で定めていますか？ (令和3年12月31日時点)	問5-2 これまで物資の備蓄にあたり、男女共同参画の視点を取り入れるための取組をしていますか？ (令和3年12月31日時点)	問5-3 物資の備蓄にあたり、男女共同参画の視点を取り入れるためにどのような取組を行っていますか？ (あてはまるもの全て○) ※問5-2で「はい」と答えた場合のみ回答					⑤の内容
	① 物資の準備の際にガイドラインの「備蓄チェックシート」を活用した。	② 物資の準備の際に女性職員や男女共同参画部局の職員が参画した。	③ 公的な備蓄だけでは対応できない事態が生じることを想定し、女性、乳幼児等が必要とする物資の調達のため、倉庫業者や運送業者等の関係団体や企業との協定や、他の地方公共団体と災害援助協定を締結した。	④ 住民に平常時からの備えを促すため、女性用品や乳幼児用品を含む生活必需品のローリングストックや非常時持出袋の準備等について、防災訓練や各種イベント等を通じて啓発した。	⑤ その他			
五 島 市	はい	いいえ						
佐 々 町	はい	はい		○		○		
南 島 原 市	はい	いいえ						
壱 岐 市	いいえ	はい			○			
大 村 市	いいえ	いいえ						
対 馬 市	はい	いいえ						
小 値 賀 町	いいえ	いいえ						
島 原 市	いいえ	はい			○	○		
川 棚 町	はい	いいえ						
平 戸 市	いいえ	いいえ						
新 上 五 島 町	いいえ	いいえ						
時 津 町	いいえ	はい			○			
東 彼 杵 町	いいえ	いいえ						
松 浦 市	はい	はい		○				
波 佐 見 町	はい	はい	○					
西 海 市	はい	はい		○	○	○		
諫 早 市	はい	はい	○		○			
長 与 町	いいえ	はい		○	○	○		
長 崎 市	はい	はい			○	○		
雲 仙 市	はい	はい			○			
佐 世 保 市	いいえ	いいえ						

長 崎 県

市 区 町 村	問6 これまで自主防災組織への女性の参画を促すための取組をしていますか？ (令和3年12月31日時点)	問6-1 自主防災組織への女性の参画を促すためにどのような取組を行っていますか？ (あてはまるものを全て○) ※問6で「はい」と答えた場合のみ回答				問7 これまで地域の防災活動に女性が参画するための取組をしていますか？ (令和3年12月31日時点)	問7-1 地域の防災活動に女性が参画するためにどのような取組を行っていますか？ (あてはまるものを全て○) ※問7で「はい」と答えた場合のみ回答					
		① 自治会長や自主防災組織の男性リーダーに対し、男女共同参画の視点の重要性についての理解促進や啓発を行った。	② 女性による自主防災組織の形成を支援した。	③ その他	③の内容		① 女性を対象とした防災リーダー養成講座を実施した。	② 男女共同参画の視点からの防災をテーマにし、住民向けの防災講座やセミナーを実施した。	③ 女性を中心とした防災訓練を実施した。もしくは、防災訓練に女性の参加者を増やすための工夫を行った。	④ その他	④の内容	
五 島 市	いいえ					いいえ						
佐 々 町	いいえ					いいえ						
南 島 原 市	いいえ					いいえ						
壱 岐 市	いいえ					いいえ						
大 村 市	いいえ					いいえ						
対 馬 市	いいえ					いいえ						
小 値 賀 町	いいえ					いいえ						
島 原 市	いいえ					はい					○	婦人会や食生活改善推進員協議会等の女性団体に市の防災訓練に協力団体として参加している。
川 棚 町	いいえ					いいえ						
平 戸 市	いいえ					いいえ						
新 上 五 島 町	いいえ					いいえ						
時 津 町	いいえ					いいえ						
東 彼 杵 町	いいえ					いいえ						
松 浦 市	いいえ					いいえ						
波 佐 見 町	いいえ					いいえ						
西 海 市	いいえ					はい		○			○	防災訓練の関係団体に地域婦人会を加え女性の参画を促している。
諫 早 市	いいえ					はい		○				
長 与 町	はい	○				はい		○				
長 崎 市	はい	○				はい					○	自治会会を通じて、女性の参加を促した。
雲 仙 市	いいえ					いいえ						
佐 世 保 市	いいえ					はい					○	防災リーダー講習に係る各地区及び消防団からの推薦者に女性を考慮していただくよう依頼している。

長 崎 県

市 区 町 村	問8 令和3年1月1日から令和3年12月31日までの間に、災害対策本部が設置されましたか？	問8-1 災害対策本部において、男女共同参画の視点からの取組を行いましたか？ (あてはまるものを全て○) ※問8で「はい」と答えた場合のみ回答					問9 令和3年12月31日時点において、災害対応業務に参画する女性職員・男性職員に対する支援対策を行っていますか？ (あてはまるものを全て○)						
		① 災害対策本部の構成員に男女共同参画担当部長の長、又は男女共同参画センター長を配置した。	② 災害対策本部や下部組織(避難所対策チーム等)、事務局組織に女性職員、男女共同参画担当部長、男女共同参画センターの職員を配置した。	③ その他	③の内容	④ 特にしていない。	① 女性職員が宿直等を安全・安心に行える環境の整備をしている。	② 庁舎内で一時的に子どもを預かるための場所、人材を確保している。	③ 民間の保育事業者や介護事業者等と子どもや要配慮者等の一時預かりに関する協定を提携している。	④ メンタルヘルスクアを行っている。	⑤ その他	⑤の内容	⑥ 特にしていない。
五 島 市	はい					○							○
佐 々 町	はい	○	○										○
南 島 原 市	はい	○											○
壱 岐 市	はい		○										○
大 村 市	いいえ												○
対 馬 市	いいえ												○
小 値 賀 町	はい					○							○
島 原 市	いいえ								○				
川 棚 町	はい					○							○
平 戸 市	いいえ												○
新 上 五 島 町	はい					○							○
時 津 町	はい		○										○
東 彼 杵 町	はい	○	○										○
松 浦 市	はい		○										○
波 佐 見 町	はい					○							○
西 海 市	はい	○	○										○
諫 早 市	はい		○						○				
長 与 町	いいえ						○						
長 崎 市	はい					○							○
雲 仙 市	はい					○							○
佐 世 保 市	はい	○	○							○	希望する職員に対して、医務室における健康相談等が実施されている。		

